

(様式3)

事業所名 グループホームソフトハンド茨島

目標達成計画

作成日: 平成24年4月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	援助目標の設定期間を具体的に設定し、アセスメント・モニタリング、記録を充実させ現状に即した介護計画となる様にする。	アセスメント・モニタリングについて上記目標2考慮し内容の濃い物とする。	アセスメント・モニタリング会議の実施内容の検討。	3ヶ月
				状態に合わせて定期的な見直しを行う。	3ヶ月
2	23	日々の関わりの中で、外部評価ではできていると評価されたものの、現状では重度化により思いや意向を取り込みにくくなってきている。スタッフ一同より改めて強化していきたいとの意見があり課題とする。	思いや意向を汲み取るため、今以上に細かな心配りと個人ケアに取り組む。	個人に接する時間をより多くする。	2ヶ月
				スタッフ同士の情報共有強化(日々の連携、報告)。	2ヶ月
				本人本位の立場になってのより良いケアの実践強化。(スタッフ全員に施設研修を行う)	2ヶ月
				意向のアンケート調査を行う。	3ヶ月
3	13	現在、施設内外の研修やその他のケアに対してのスキルアップが出来る様にしているが、OJTを導入しキャリアアップ制をより強化していきたい。	スキルアップができる環境を強化する。	スタッフのレベルに合わせた評価基準を設ける。	12ヶ月
				評価した内容に対し施設内外の研修参加の充実化を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。